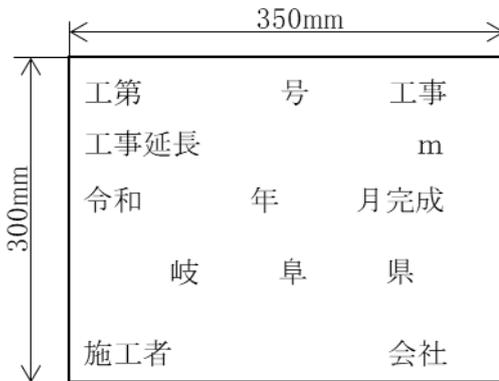


第11号様式

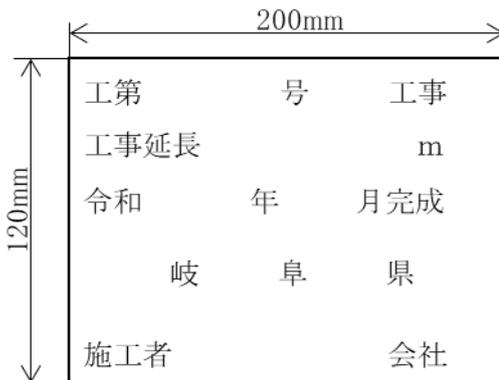
工事完成の標示

1. 改良、災害（道路、河川、砂防）



- 〔注〕 1. 災害工事は、最上段に災害年度を記入する。
 2. 版厚及び材料は、監督員の指示するものとする。
 3. 本規格を使用できない場合は、9cm角の木材を使用するものとし、上記記載事項を記入する。
 4. 設置位置は、起点を原則とする。

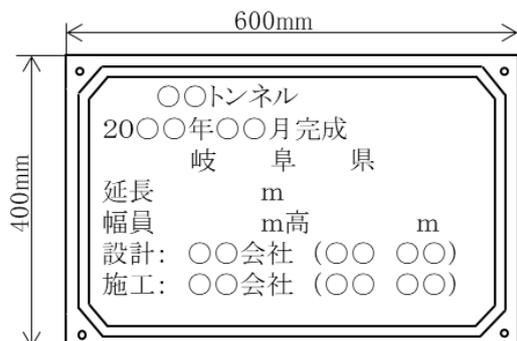
2. 舗装



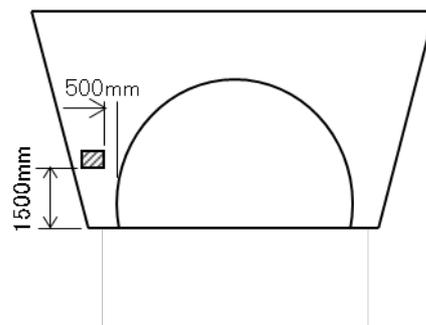
- 〔注〕 1. 版厚及び材料は、監督員の指示するものとする。
 2. 設置位置は、起点を原則とし、目地及び舗装版の端より50cmのところとする。

3. トンネル・コンクリートシェッド・鋼製シェッド

(標示板)

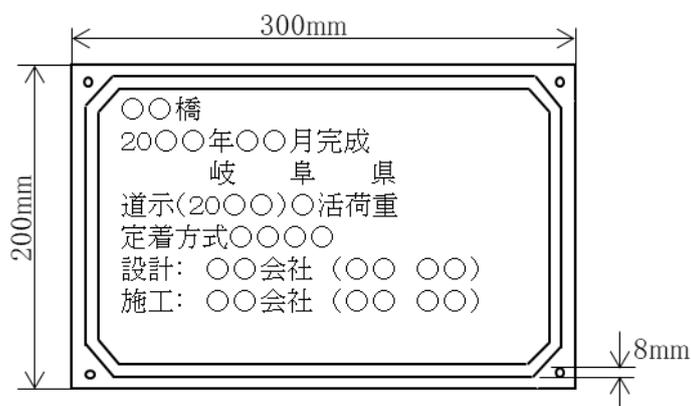


(取付け図)



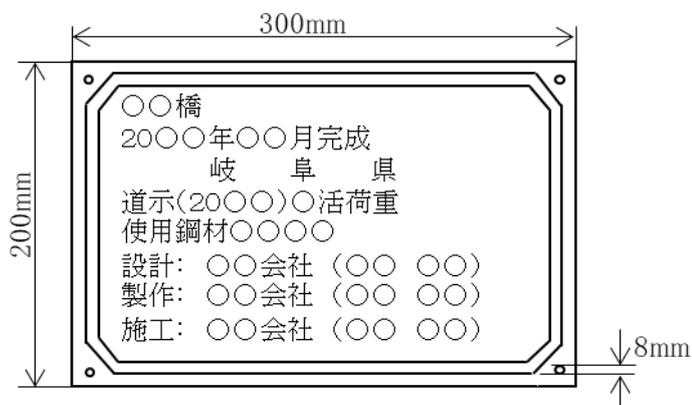
- [注] 1. 幅員、高さは建築限界とする。
 2. 材質は、JIS H 2202（鋳物用銅合金地金）とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。
 3. 設計には管理技術者名を、施工には主任または監理技術者名を、それぞれ記載する。

4. P・C橋



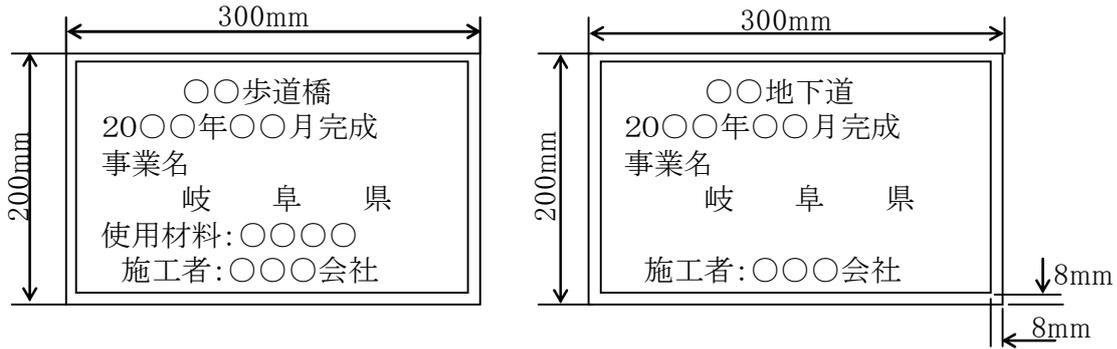
- [注] 1. 取付位置は、起点左側橋端部を原則とする。
 2. 材質は、JIS H 2202（鋳物用銅合金地金）とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。
 3. 設計には管理技術者名を、施工には主任または監理技術者名を、それぞれ記載する。

5. 鋼 橋



- [注] 1. 取付位置は、起点左側橋端部を原則とする。但し、特別な場合は監督員の**指示**による。
 2. 材質は、JIS H 2202（鋳物用銅合金地金）とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。
 3. 設計には管理技術者名を、製作・施工には主任または監理技術者名を、それぞれ記載する。

6. 立体横断施設及び地下道



- [注] 1. 立体歩道 取付位置は、左側階段部下方を原則とする。
 2. 地下道 取付位置は、左側入口左側壁を原則とする。
 3. 材質は、鋳鉄 (JIS G 5501) とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。

7. 水門、ひ門等

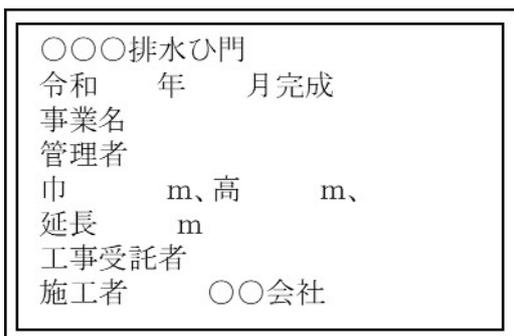
a) 本工事施工の場合



b) 附帯工事施工の場合

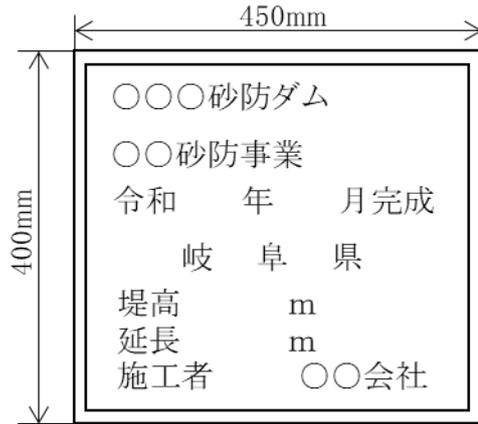


c) 受託工事施工の場合



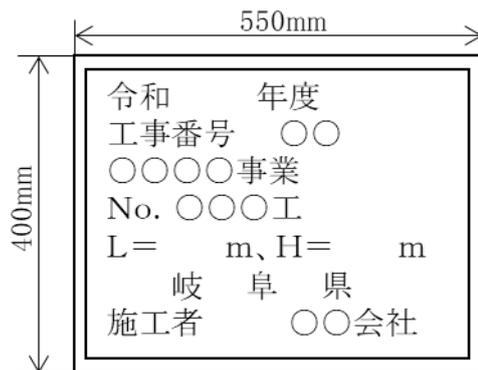
- [注] 1. 取付位置は、監督員の指示によるものとする。
 2. 材質は、鋳鉄 (JIS G 5501) とし、板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm とする。

8. 砂防えん堤及び床固工



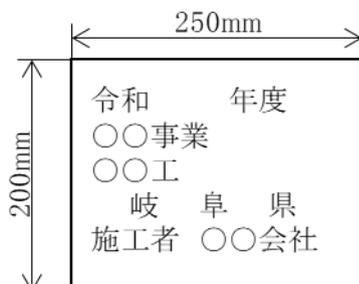
- [注] 1. 設置位置は、道路側袖天端で水通し肩より 2.0m の位置とする。
ただし、完成後の確認が困難な場合は監督員の指示を受けること。
2. 材質は、御影石（板厚 145mm、字厚 5mm、計 150mm）又は鑄鉄（板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm）とする。

9. 治山ダム及びダム型土留工



- [注] 1. 設置位置は、道路側袖部を原則とする。
2. 材質は、銅又は合金とし、板厚 12mm とする。

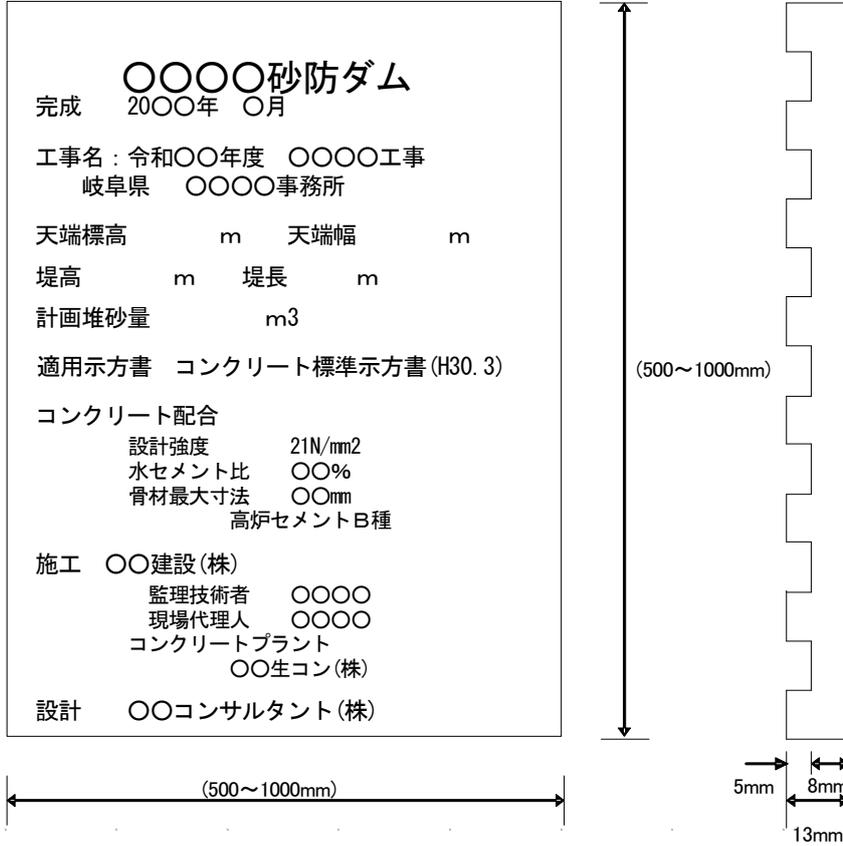
10. 治山積石（ブロック積）土留工等



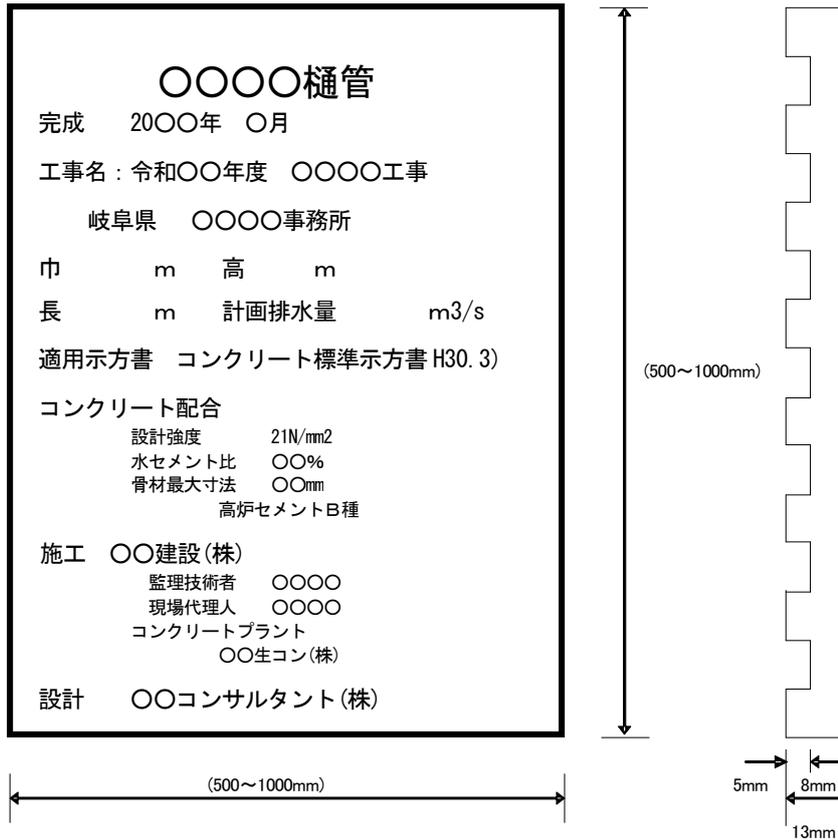
- [注] 1. 設置位置は、天端を原則とする。
2. 材質は、銅又は合金とし、板厚 10mm とする。

コンクリート構造物（現場打ち）の銘板

<参考> 銘板記入例（砂防工）



<参考> 銘板記入例 (樋管工)



<参考> 銘板記入例 (橋梁下部工)

